

秋田県教職キャリア指標(保育者)～秋田の未来と教育・保育を支える人材の育成を目指して～

学び続ける
秋田の保育者

<ul style="list-style-type: none"> ◇園経営ビジョンの理解と保育者の積極的な参画を支えるフォローアップの発揮 ◇評価システムを活用した園運営状況の適切な評価と結果の分析 ◇管理職との連携による効果的な園情報の発信と適切な情報収集 ◇地域人材・地域資源の有効活用のための連絡調整と工夫 ◇よりよい働き方を目指す園務分掌システムへの提言・調整 ◇同僚性を育むベテラン保育者としてのメンターの役割の理解と実践 ◇地域と連携した園の安全な環境の整備 ◇地域の学校・園との連携に関する計画・実践の推進 ◇危機管理体制に基づく自園の教育・保育の課題への迅速な対応 	組織運営力	園のマネジメント力	園経営力	<ul style="list-style-type: none"> ◇園経営ビジョンの実現と組織を動かすリーダーシップの発揮 ◇園運営状況の適切な評価、結果を踏まえた施策の改善及び人事評価の実施 ◇自園の特色や教育・保育の課題の解決に資する柔軟なカリキュラムの編成と実施 ◇園務に関する情報の収集・分析・活用と情報セキュリティシステムの構築 ◇よりよい働き方を目指す園務分掌の改善・整備 ◇全職員の勤務やメンタルヘルスに関する日常的な状況把握と園内ケア体制の確立 ◇地域との連携を通じた安全で安心な園づくりと危機管理体制の確立 ◇インクルーシブ教育システムの理念の共有と実現に向けた組織的取組の推進
<ul style="list-style-type: none"> ◇カリキュラム・マネジメントを軸にした保育の改善についての指導・助言 ◇好奇心や探究心を育む保育を組織的に推進するためのロールモデルの提示 	保育実践力		外部折衝力	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域と園との信頼関係の確立 ◇家庭や地域、関係機関との素早い連携と適切な対応の判断 ◇地域と園相互の活性化を目指した地域人材・地域資源の有効活用 ◇地域の学校・園との連携の推進及び園内体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> ◇専門的指導における保育者の在り方の提示と指導・助言 ◇家庭や地域、関係機関との連携のロールモデルの提示と指導・助言 ◇自園の個の実態に応じた指導やキャリア教育の課題を踏まえた改善策の提示と実施 	専門的指導力		人材育成力	<ul style="list-style-type: none"> ◇実践的なリーダーの育成を可能にする人材育成システムの構築 ◇適切な園務分掌による全職員の資質能力の向上 ◇保育の観察や職務の実績に応じた適切な評価と指導・助言 ◇保育力等の向上に資する全職員による効果的な園内研修の充実 ◇職員の資質向上に向けた主体的な研修受講への指導・助言
<ul style="list-style-type: none"> ◇園務分掌システムの効果的な活用による若手保育者の育成 ◇自園の課題の解決に資する研修等の企画・運営による教職員のスキルアップ 	人材育成力		特別支援教育の推進力	<ul style="list-style-type: none"> ◇園内支援体制の整備・充実に向けたリーダーシップの発揮 ◇家庭や地域、関係機関との連携推進に向けた調整と保育者への指導・助言
<p>保育経験活用・発展期【ベテラン保育者】</p> <p>ベテラン保育者としての自覚と責任をもち、多様な保育経験と広い視点から同僚・若手保育者に指導及び助言をし、積極的に組織運営の改善に取り組む</p>		第4ステージ	<p>園運営推進・充実期【教頭・主任等】</p> <p>管理職としての強い責任と自覚をもち、大局的な視点から特色ある教育・保育活動を推進するとともに、直面する喫緊の教育・保育の課題に対応するマネジメント能力を発揮する</p>	

◆園運営推進・充実期
◆教職経験活用・発展期
○教頭・主任等研修会

研修段階	<p>第3ステージ (目安:11年目～)</p> <p>実践的指導力充実期</p> <p>中堅保育者としての自覚をもち、多様な保育経験を生かした指導・助言や、積極的な園運営への参画とともに、主任等の分掌に必要な役割・職務に関して理解を深め、組織マネジメント能力を身に付ける【推進と充実】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇教育・保育活動全体を通じた系統的・組織的なふるさと教育やキャリア教育の推進と充実 ◇直接的・具体的な体験の充実に向けた地域連携の推進と充実 ② ◇「問い」を発する力を育成し、資質能力を育むための教育・保育活動全体を見通した組織的な取組の推進と充実 ③ ◇専門的指導や保育実践、クラス経営などの実践をもとにした適切な助言・援助 ④ ◇一貫した支援や適切な指導に向けた、個別の教育・保育支援計画(合理的配慮を含む)及び個別の指導計画の作成・活用推進及び指導・助言 	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇園の教育・保育活動全体の多面的な評価と園運営に係る各種計画の改善への参画 ② ◇園運営に対する評価の客観的分析と改善への提案 ③ ◇組織全体の把握と園運営への積極的な参画 ④ ◇危機管理マネジメントの実行と評価・改善 ⑤ ◇小学校教育との学びや育ちの連続性を意識した互恵性のある交流・連携の推進 ⑥ ◇地域、関係機関等との連携の工夫及び推進 ◇情報モラル、情報セキュリティの整備、指導助言 ⑦ ◇特別支援教育のクラス経営への反映の評価・改善 ◇交流及び共同学習の推進と充実 	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇乳幼児一人一人の発達の特성에応じた指導・支援に係る園内組織等のマネジメント ◇子どもが集団生活の中で互いに関わりを深め、育ち合うための適切な指導・支援 ② ◇家庭、地域、関係機関等との積極的な連携・協働による子育て支援の推進 ③ ◇特別な配慮を必要とする子どもの特性等の理解に基づく組織的な支援の充実と、家庭や地域、関係機関との連携・推進と助言 	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇多様な保育経験を生かした周りの保育者に対する専門的な指導・助言の充実 ◇自園の取組の課題の明確化及び年間指導計画等の改善と実践の推進 ② ◇乳幼児の主体性、生活や遊び等の状況に応じた多様な保育の構想や柔軟性のある展開 ③ ◇各種研修会(研究会)における中核保育者としての企画・運営 ④ ◇特別な配慮を必要とする子どもの、学習上又は生活上の困難さに応じた保育実践の充実と助言
	<p>第2ステージ (目安:4年目～10年目)</p> <p>実践的指導力向上期</p> <p>積極的に学年経営に参画しようとする姿勢をもち、個々の個性・適性・分掌等に応じた資質能力を向上させる【実践と改善】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇教育・保育活動全体を通じたふるさと教育やキャリア教育の充実に向けた実践と改善 ◇キャリア発達の段階を踏まえた直接的・具体的な体験の充実に向けた実践と改善 ② ◇「問い」を発する力を育成するための教育・保育活動全体を見通した実践と改善 ◇「問い」を発する力を育成するための言語活動の実践と改善及び言語環境の充実 ③ ◇若手保育者同士による保育実践などの実践的な研修を通じた学び合い ④ ◇一貫した支援や適切な指導に向けた、個別の教育・保育支援計画(合理的配慮を含む)及び個別の指導計画の作成・活用と改善 	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇全体的な計画と各種計画の相互関係の理解と実践 ② ◇保育実践の評価・改善及び各種計画に対する改善策の提案 ③ ◇園務分掌の協働的な遂行と評価 ④ ◇園全体の危機の洗い出しと未然防止策の提案と実践 ⑤ ◇小学校教育との育ちのつながりを意識した保育や交流活動等の実施 ⑥ ◇カリキュラム・マネジメントの視点に立った資源の活用 ◇情報モラルや情報セキュリティの理解と啓発 ⑦ ◇特別支援教育のクラス経営への反映 ◇交流及び共同学習の実践と改善 	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇乳幼児の内面や背景の理解と一人一人の発達の特性を踏まえた、職員間の連携による適切な指導・支援 ◇子どもが集団生活の中で、互いに育ち合うための適切な指導・支援 ② ◇家庭との信頼関係を基盤とした積極的な連携による子育て支援の実践 ③ ◇特別な配慮を必要とする子どもへの個に応じた適切な指導内容や指導方法の工夫・改善と、家庭や地域、関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇乳幼児理解に基づいた評価による継続的な保育の改善 ◇乳幼児の実態を踏まえ、一人一人の発達の特性に適切な指導計画と実践 ② ◇乳幼児の自発的な活動としての遊びの過程を重視した多様な保育の展開 ◇主体的・対話的で深い学びの視点からの保育の改善 ③ ◇各種研修会(研究会)の企画・運営への参画 ◇研究会への参加による多様な視点からの保育の改善 ④ ◇特別な配慮を必要とする子どもの、学習上又は生活上の困難さに応じた保育実践と改善
	<p>第1ステージ (目安:初任～3年目)</p> <p>実践的指導力習得期</p> <p>管理職や先輩保育者等の助言の下、保育者としての心構えやモラル、各要領・指針や全体的な計画等についての基礎的知識及び保育力を身に付ける【理解と実践】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇キャリア教育の視点を生かしたふるさと教育の基本的な理解と実践 ◇地域に根ざしたキャリア教育の基本的な理解と実践 ② ◇「問い」を発する子どもを育成する取組についての基本的理解 ◇「問い」を発する力の育成の基盤となる環境を通じた遊びの理解と実践 ③ ◇乳幼児理解や保育の構想・保育改善などにおける自己の諸課題を解決する手段・方法の確認と実践 ④ ◇一貫した支援や適切な指導に向けた、個別の教育・保育支援計画(合理的配慮を含む)及び個別の指導計画の理解と作成 	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇全体的な計画等の理解と、指導計画の作成 ② ◇指導計画に基づいたクラスの保育実践と評価・改善 ③ ◇園務分掌の役割等の理解と計画的な遂行 ④ ◇担当クラスや園内外における安全管理の理解と実践 ⑤ ◇小学校教育との円滑な接続の意義の理解と保育や交流活動等の実施 ⑥ ◇地域人材や資源についての理解活用 ◇情報モラルや情報セキュリティの基本的理解 ⑦ ◇特別支援教育の理解とクラス経営への反映 ◇交流及び共同学習の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇乳幼児の内面理解や一人一人の発達の特性に適切な指導・支援 ◇子どもが集団生活の中で人との関わりを深めるための指導・支援 ② ◇家庭への共感的理解に基づく対応と、家庭との連携を生かした子育ての支援の実践 ③ ◇特別な配慮を必要とする子どもの特性や背景の把握、家庭との連携及び個に応じた適切な指導・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ① ◇各要領・指針の基本理念に基づく指導内容等の工夫 ◇ねらいと内容を明確に設定した保育の構想と実践 ◇乳幼児の気付きや発想を大切に教材の工夫と環境の構成 ② ◇乳幼児期の教育・保育における見方・考え方を生かした保育の理解と推進 ◇主体的・対話的で深い学びの視点からの保育の展開 ③ ◇園内外の研修会(研究会)の重要性の理解と活用 ◇研修会(研究会)の成果と課題を生かした保育の改善 ④ ◇特別な配慮を必要とする子どもの、学習上又は生活上の困難さの理解と保育実践

◆実践的指導力充実期
○中堅教諭等資質向上研修(採用11年目以降)
○保育士等キャリアアップ研修

◆実践的指導力向上期
○5年経験者研修

◆実践的指導力習得期
○保育実践力習得研修(採用3年目)
○新規採用者研修

<p>本県の教育課題への対応</p> <p>【本県の共通教育課題】</p> <p>①ふるさと教育・キャリア教育の推進 (ふるさと教育:ふるさとの自然や文化、人材等に恵まれていることに気付かせ、それらと直接触れ合い、豊かな心や態度を育てること) (キャリア教育:ありのままの自分が愛され、安心して自己発揮する中で、自分のよさに気付く、好きなことや得意なこと、できることを増やし、様々な活動に意欲と自信をもって自ら取り組む姿勢を育むこと)</p> <p>②「問い」を発する子どもを育成 (「遊びや生活の中で身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付く、これらを取り込もうと、試行錯誤したり、考えたりする姿」を大切にすること)</p> <p>③若手保育者の保育力向上</p> <p>④特別支援教育の推進</p>	<p>マネジメント能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全体的な計画・教育課程の理解と実践 ②園目標のクラス経営への反映 ③園運営への参画 ④危機に対応できる管理能力 ⑤小学校教育との円滑な接続 ⑥地域人材や資源、情報の活用 	<p>専門的指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> ①基本的乳幼児理解に基づき指導・支援する力 ②家庭と共に課題を克服する力 	<p>保育実践力</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保育における基本的な指導力 ②秋田の探究型保育の実践力 *子どもが興味・関心を抱いたことに主体的に関わる中で、気付いたり、試行錯誤したり、考えたりしながらしたい遊びや生活に取り組みよう支える保育 ③保育研究・保育改善を推進する実行力(ICT活用も含む)
<p>特別な配慮を必要とする子ども一人一人の教育的ニーズに応じて指導・支援する力</p>			

全てのキャリアステージで求められる保育者としての基礎的素養

ふるさとを愛し支える自覚と志	保育者としての使命感・倫理観・責任感	豊かな人間性と教育・保育への情熱	課題を追究する創造的探究力
----------------	--------------------	------------------	---------------

採用段階 採用段階で求められる人材像	<p>使命感・倫理観</p> <p>保育者としての強い使命感と高い倫理観を身に付けている</p>	<p>人間関係形成力</p> <p>協調性と豊かなコミュニケーション能力を有している</p>	<p>教育的愛情と共感的理解</p> <p>教育的愛情にあふれ、特別な支援を必要とする乳幼児及び児童を含め全ての乳幼児及び児童の心身の状況を踏まえ、受容的・共感的に理解ができる</p>	<p>豊かな人間性と探究力</p> <p>個性豊かでたくましく、常に学び続ける探究心を有している</p>	<p>保育における指導の専門的知識</p> <p>保育等に関する深い専門的知識と広く豊かな教養をICT活用も含め身に付けている</p>
養成段階 育成する保育者の資質能力の基盤	子ども理解と保育に関する専門性の基礎		専門職としての自覚と責任		

教員養成系大学と秋田県教育委員会との連携
I 秋田県教職キャリア協議会の開催
II 県主催事業への参加や総合教育センターの公開講座等の受講
III 各大学が行っている事業等を活用した相互交流

高等学校段階からの乳幼児との触れ合いの取組

地域の就学前施設での保育体験やインターンシップの実施

関連する研修・事業等